

完成図のような文書を作成しましょう。



フォルダー「実習データ」の文書「Lesson13」を開いておきましょう。

●完成図

地震に備える

地震が起こったとき、どう対処すればよいか。
災害に「予告」はありません。
突然の災害に困らないための「備え」の大切さを考えてみましょう。

～いざという時のために～

広 域避難場所の確認
日ごろから家庭や職場の近くの「広域避難場所」を確認しておきましょう。広域避難場所には、火の手がおよびにくい場所が指定されています。周囲から火の手が追ってきた場合は、あわてずに広域避難場所に避難します。

避 難所の確認
「避難所」も確認しておきましょう。家が倒壊した場合や電気・ガス・水道などのライフラインが途絶して自宅で生活できない場合などは、避難所に避難します。ここでは、生活に必要な食糧や生活必需品の支給を受けることができます。

家 具や家電の転倒の防止
寝室や部屋の出入り口付近、廊下、階段などに家具や物を置かないようにして下敷きになりそうな危険のある家具や家電は、転倒防止器具などで固定

非 常用備蓄品の準備
ライフラインの途絶に備えて、家庭内に「水」「食糧」「燃料」など最低

水 の準備
そのほかにも、家族に関する覚え書きや預貯金の控えなども準備しておく

水の準備
水の重要性はいうまでもありません。大地震などの災害が起こったと
る可能性は十分にあります。意外に困るのが生活用水です。洗濯や炊事、水
せん。生活用水のために、日ごろから風呂のお湯は抜かないで貯めておく
も意外と役立ちます。飲料水には選んでいなくても、生活用水として利用す
っこうあります。周辺の井戸を確認しておきましょう。
また、水を運ぶためのポリタンク・キャリアなどを用意しておく

[1]

～地震が発生したら～

身 の安全の確保
テーブルや机の下に隠れ、落下物などから身を守りましょう。揺れがおさまったあと、落下物に注意しながら外に出ましょう。

火 の始末
火の始末は、火災を防ぐ重要なポイントです。タイミングを間違えるとケガをする恐れもあるので、揺れの大きさを判断して火の始末をしましょう。もし火災が起こったら、大声で近隣に知らせ、隣近所と協力して消火にあたりましょう。初期消火が、二次災害を防ぐ重要なポイントです。

脱 出口の確保
建物の歪みや倒壊によって、出入り口が閉かなくなる場合があります。扉や窓を開けて脱出口を確保しましょう。

家 具から離れる
本棚や食器棚などが倒れて大ケガをするばかりか身動きがとれなくなる恐れがあります。揺れを感じたら、すぐに家具から離れましょう。

ガ ラスの破片に注意
地震が発生したあと、最も多いケガはガラスの破片などによる切り傷です。はだして歩き回らずにスリッパなどをはくようにしましょう。

応 急救護の実施
ケガ人が出た場合は、助けを呼び、隣近所で協力しあって応急救護を行いましょう。また、普段から隣近所との協力体制を作っておくことも大切です。

正 しい情報の収集
テレビやラジオ、パソコン、携帯電話などで正しい情報を収集しましょう。

～市の防災対策について～

<p>救命講習の実施 救命講習に参加してみませんか？地震などの災害時に役立つ救命方法を学びます。 毎月第2土曜日・第3金曜日 13:00～15:00</p>	<p>消防団の応援 安心・安全な地域づくりに貢献する消防団を応援します。今年度から交付金制度がスタートしました。</p>	<p>ハザードマップの交付 町村ごとに土砂災害の危険箇所、避難場所などを掲載したハザードマップ（防災地図）を交付しています。</p>
---	---	---

お問い合わせ 青葉市消防局防災危機管理室 077-555-XXXX

[2]

基礎 P.94,96, 152-153, 156


① 「～いざというときのために～」に、次の書式を設定しましょう。

フォントサイズ : 18ポイント
太字
文字の効果 : 塗りつぶし(グラデーション)-青、アクセント1、反射
文字の反射 : 反射なし
段落前の間隔 : 1行

Hint 段落前の間隔を変更するには、《ページレイアウト》タブ→《段落》グループを使います。

基礎 P.154-155

② ①で設定した書式を、「～地震が発生したら～」と「～市の防災対策について～」にコピーしましょう。

Hint 複数の範囲に連続して書式をコピーするには、 (書式のコピー/貼り付け) をダブルクリックします。

基礎 P.164

③ 次の段落の先頭文字にドロップキャップを設定しましょう。本文内に表示し、ドロップする行数は「2」、本文からの距離は「1mm」にします。

広域避難場所の確認	水の準備	家具から離れる
避難所の確認	身の安全の確保	ガラスの破片に注意
家具や家電の転倒の防止	火の始末	応急救護の実施
非常用備蓄品の準備	脱出口の確保	正しい情報の収集


基礎 P.169

④ 「～地震が発生したら～」の行が2ページ目の先頭になるように、改ページを挿入しましょう。

基礎 P.166-167

⑤ 「救命講習の実施」から「…ハザードマップ(防災地図)を交付しています。」までの文章を3段組みにしましょう。

また、段の間に境界線を設定しましょう。

Hint 段の間の境界線は、《ページレイアウト》タブ→《ページ設定》グループの  (段の追加または削除) →《段組みの詳細設定》を使います。

基礎 P.168

⑥ 「消防団の応援」の行が2段目の先頭に、「ハザードマップの交付」の行が3段目の先頭になるように、段区切りを挿入しましょう。

基礎 P.170

⑦ ページの下部に「[1]」と表示される「かっこ1」のページ番号を追加しましょう。

※ 文書に「Lesson13完成」と名前を付けて、フォルダー「実習データ」に保存し、閉じておきましょう。